

目次

目的・方法	01
FIFA “Women’s football-10 key development principles” (女子サッカー発展のための10の重要方針)	02
日本女子サッカー界の現状	03
女性アスリートが直面しやすい課題の把握 (女性アスリート戦略的強化支援方策レポート)	04
なでしこリーグ所属選手の特徴——個人的属性や競技経験	06
なでしこリーグ所属選手の特徴——女性コーチ	07
なでしこリーグ所属選手の特徴——コーチングキャリアに関して	08
SCCT 理論を用いた結果：理論の概念図	10
SCCT の質問項目	11
なでしこリーグ選手のコーチングキャリア選択の 促進要因、阻害要因	12
なでしこリーグ選手のコーチングキャリア選択の 年代別促進要因、阻害要因	13
オリンピックとの比較	14
日本での取組	15
調査結果に基づく女性コーチ増加に向けた提案	16



目的・方法

本調査はSCCT理論*に基づいて、なでしこリーグ所属選手の声からコーチングキャリア選択に関わる要因分析を行いました。これは、日本のスポーツ界において、女性リーダーが継続的に指導に関わることのできる環境の構築を目指し、実施したものです。

※SCCT理論については10ページ参照

目的

- 1 なでしこリーグ所属選手のコーチングキャリア選択に関する促進要因、阻害要因に対する理解を、なでしこリーグ所属選手自身やスポーツ界全体に広める
- 2 女性コーチの増加や、コーチングキャリアの継続に対する支援に向けた基礎的な資料を提供する
- 3 なでしこリーグ所属選手のコーチングキャリア選択に関する調査結果に基づく女性コーチ増加に向けた提案をする

方法

- 1 調査対象者：なでしこリーグ1部所属全10チーム、および2部所属8チーム（全10チーム中、大学2チームを除く）の選手に実施
なお、なでしこリーグ所属選手の平均年齢は、23歳であった
- 2 調査期間：2016年5月から7月の2ヶ月間に実施
- 3 調査方法：アンケート調査を実施
- 4 その他：文献考証、各種セミナーによる情報収集

調査・研究：小笠原悦子 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授
女性スポーツ研究センター センター長
藤崎 真琴 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 博士前期課程2年
新井 彬子 東京理科大学経営学部経営学科 助教
伊藤 真紀 順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツマネジメント学科 助教
吉村 雅文 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授
青葉 幸洋 順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科 助教

なでしこリーグ所属選手の コーチングキャリアに関する 調査レポート

発行日：2017年3月23日

発行：女性スポーツ研究センター
〒113-8421
東京都文京区本郷2-1-1 順天堂大学

デザイン：株式会社廣済堂
印刷

イラスト：こさかいずみ

本書を無断で複製・転載することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。

